

留 学 報 告 書

記入日:2019年10月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学ロサンゼルス 現地言語: University of California, Los Angeles
留学期間	2019年6月～2019年9月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年9月19日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	44,947 (2016)
創立年	1919

留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料	7,161.68	780,000円	登録料、手数料を含む
宿舍費	4,079.68	448,000円	手数料を含む
食費		0円	寮費に含まれる
図書費		0円	
学用品費		25,000円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		28,000円	形態:明治大学海外旅行保険
渡航旅費		74,530円	
雑費		150,000円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		1,505,530円	

渡航関連

渡航経路: 成田-北京-ロサンゼルス

渡航費用

チケットの種類 エコノミークラス

往路 _____

復路 _____

合計 74530円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Skyscanner というサイトで最安値の航空券を探した。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数2人)

3)住居を探した方法:

ホームページ

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ルームメイトが全員日本人だったのが残念だった。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友人や寮のフロントの人

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

トラブルは起きなかった。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の Wi-Fi は接続が悪い時があったが、Sim カードを利用していたので不便に思うことはなかった。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

キャッシュパスポートという日本から送金して、海外で使えるカードを持って行った。基本的にクレジットカードを利用したが、現金が必要な時にキャッシュパスポートから引き出した。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特になし

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に両親のクレジットカードで支払った。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
未定
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスををお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学・海外経験を通して将来やりたいことを明確にできたと思う。3年生で留学する人は渡航前から就活ガイダンス
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
17単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Selected Topics in Global Studies: Introduction to International Business (GLB ST 160)	国際ビジネス入門
科目設置学部・研究科	GLB ST
履修期間	SessionA
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に125分が2回
担当教授	Park, P.S.
授業内容	国際ビジネスの成長分野について学んだ。国際ビジネスの背景を理解するのに役立つ概要、歴史的背景、理論を教科書で学び、次に、企業がグローバル化する世界から直面する結果として生じる機会と脅威、および機会を活用して脅威に対抗するために経営者が追求できる戦略に関してケーススタディを通して実践的に学んだ。
試験・課題など	中間試験と期末試験が1回ずつあった。その他にグループワークを行い、プレゼンテーションを3回行った。課題は教科書や資料の予習があった。
感想を自由記入	初めは、教科書の予習などが30ページ程毎回出されていたのでこなしていくことが大変だった。しかし、ケーススタディを通して実践的に理論を学ぶことが出来るので面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Labor and Workplace Studies (LBR&WS10)	労働と職場環境学入門
科目設置学部・研究科	LBR&WS10
履修期間	SessionA
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に125分が2回
担当教授	Griffey, T.S.
授業内容	労働者の経済的や政治的権力、および貿易と移民の規制に関する階級闘争に関連する社会科学の重要な概念について学んだ。
試験・課題など	中間レポートと期末レポートがそれぞれ1回ずつあった。予習のリーディング課題やその内容に関するワークシートの提出が3回あった。
感想を自由記入	教授がとても良い方だった。Office Hour でこの授業で学びたいことを伝えると中間レポートを他の生徒とは違う別のトピックに関する課題に変更してくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Interpersonal communication(MGT180)	対人コミュニケーション
科目設置学部・研究科	MGT(graduate school)
履修期間	SessionC
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が2回
担当教授	Ullmen, J.B.
授業内容	1対1の対話、小グループ、大勢の聴衆を前にしてどのように信頼と関係を促進するか、また最高の質問戦略、エグゼクティブコミュニケーションスキル、リーダーシップの存在感の強化、ネットワークの強化、プレッシャーに耐えることがなど効果的なコミュニケーション手段について学んだ。
試験・課題など	毎週、Linkedinで指定されたビデオを見てくるのが課題だった。最終週までに教科書を読み切ることも課題だった。
感想を自由記入	非常に実践的でプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を養うのに役立った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Film and Television Directing(FTV122M)	映画とテレビの演出
科目設置学部・研究科	FTV
履修期間	SessionC
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が2回
担当教授	Columbus, M.K.
授業内容	1980年代以降の長編映画(物語とドキュメンタリー)とテレビのコンテキストで演出するプロセスを学んだ。毎授業1つ映画や番組を見て、監督の意図が映画製作のどの部分に表れているかをディスカッションした。
試験・課題など	中間レポート、期末レポートの他に期末テストがあった。教科書として使用した本のチャプター2~3章分読んでくるのが毎回の課題だった。
感想を自由記入	ロサンゼルスは映画産業が有名な地域でもあるので本場の映画製作の過程を学べたことは非常に良かった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	大学入学
8月～9月	
10月～12月	留学を考えていたが、いまいち目的を明確化できず、あきらめる。
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	アメリカ合衆国で WORK & TRAVEL に参加し就労を経験する。
10月～12月	TOEIC 公開テスト 受験 出願
2019年 1月～3月	合格後、ガイダンスに参加する。 本当に留学に行きたいのか悩む。 UCLA への登録を済ませる。
4月～7月	授業料、寮費を支払う。 航空券の取得、VISA を申請する。
8月～9月	帰国
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	2年次にアメリカ合衆国で WORK & TRAVEL に参加したことが大きなきっかけでした。それ以前にも留学を考えたことはありましたが、自分の中であまりワクワク感がありませんでした。しかし、6週間アメリカのテーマパークで働き、世界各国から来た同世代の人と生活を共にすることでさらに海外に興味を沸かしました。それと同時に、今度はアメリカで勉強してみたいと思いました。将来、世界で活躍する国際人になるためには海外大学での教育を経験する必要があると思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語 4 技能は出国前に可能な限り準備しておくべきだと思います。特に大学ではリスニングとリーディングができなければ苦しみます。英語でのコミュニケーションに慣れておくことより多くの人と交友関係を築くことが出来るため、留学生活がより豊かなものになります。レポートの書き方 (MLA) などは事前に慣れていた方が後々楽でしょう。
この留学先を選んだ理由	YouTube で UCLA 生の生活を記録した動画を見たことがきっかけでした。その時は、ただ漠然といいな、いつか行ってみたいと思うだけでした。しかし、アメリカでの就労を経験した後に、海外で勉強したいと思った時にこのプログラムを見つけました。UCLA は様々な国から多くの留学生を受け入れており多様性の中で学問を学ぶことができる場所であることが魅力的でした。また、多くの人種が共存しているカリフォルニア州の大学で今後世界のリーダーを担う同世代の学生たちと多様性を学び、議論し、経験していくことは将来に有意義なものだと思いました。
大学・学生の雰囲気	キャンパスは非常に広く、学生だけでなく一般の人も多く歩いていました。施設も充実しており勉強できる環境が整っているという印象でした。学生たちも勉強熱心な様子でした。夏学期ということもあり留学生が非常に多かったです。
寮の雰囲気	寮の部屋はあまり広くなく最低限のものしかありませんでしたが、特に不快に思うことはありませんでした。バスルームもほぼ毎日清掃員の方が掃除してくださったおかげで清潔さが保たれていたと思います。交流などのイベントは特にありませんでした。
交友関係	留学当初は友達がなかなかできずルームメイトも日本人 2 人だったので授業外で英語を話す機会がなかなか作り出せないことに悩んでいました。しかし、週一回開かれている English Language Circle という留学生向けの英会話教室のようなものに参加し友達を作ったり、同じ授業の学生に積極的に声をかけることで友達を作りました。
困ったこと、大変だったこと	初めころは、友達もなかなかできず寮と教室を往復する毎日でした。明治大学の英語で開講されている授業をアメリカで受けている感じでした。周りに日本人が多かったため余計そういう風にしたのかもしれないかもしれません。予習が多く夜遅くまでリーディングをこなすといった日々でした。文化の違いや食事よりも、現実が沢山友達が出来て毎日英語を話して上達していくという思い描いていた留学生活とは程遠かったことの方がメンタル的にしんどかったです。
学習内容・勉強について	英語が聞き取れても発言できなかつたり考えが持てる程知識がなかつたりと苦戦することが多々ありました。授業は、必ずと言っていいほどディスカッションがあったのでその点は大変でした。しかし、理解しようとする姿勢や、予習など授業前に準備できることをしっかり行うことで徐々に改善することが出来ましたし、教授も助けてくれることが増えました。
課題・試験について	リーディングの予習が非常にしんどかったです。毎回 30 ページから 60 ページのリーディングでは専門用語が沢山あり、辞書を使ってもその言葉自体がわからないのでインターネットで調べることが何度もありました。平日は徹夜で勉強することが多かったです。

大学外の活動について	クラブ活動に参加したかったのですが、夏学期は行われていないクラブのほうが多いとのことでした。
留学を志す人へ	私が留学中しんどかった時に何度も見直していたのが留学計画書でした。つらくても苦しくても目的をもって自分で選択した留学でしたし、これが学びたいことなんだという気持ちがあったからこそ乗り越えることが出来ました。よく留学の目的を明確にすることが重要視されますが、本当につらい時にそれが支えになるのでしっかり考えてみましょう。また、自分が1番ワクワクする道を選ぶことも大切だと思います。先程の話と矛盾しているかもしれませんが、留学に悩んでいる人は深く考えすぎず第一印象でワクワクすることを選んでみてください。理由はいくらでも後付けできます。本当にやりたいことなんて多くの方がわからないと思いますし、私もそうでした。やりたいこと→ワクワクすることに思考変換することでハードルが下がると思います。最後に、私が海外経験をはじめ多くの場面で思うこととはどこに行き、何をするかではなく、誰に出会うかが人生に大きな影響をもたらすということです。UCLA を選んでよかったと思う1番の理由に現地で出会った人達が挙げられます。誰に出会いどんな経験を共にするかで留学生活も大きく変わると思います。恐れることなくワクワクすることに挑戦してみてください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	勉強	勉強	勉強	勉強		観光	
	昼食	授業	昼食	授業		観光	自由
午後	授業	昼食	授業	昼食	昼食	観光	昼食
	授業	自由	授業	ジム	勉強	観光	勉強
夕刻	勉強	勉強	自由	勉強	ジム	観光	勉強
夜	夕食、予習	夕食、予習	夕食、予習	夕食	夕食	夕食、勉強	夕食、予習